

◇ 第91回メーデー実行委員会 県に対して寄付金を贈呈

第91回福島県中央メーデー実行委員会を代表して連合福島今野会長は、福島県に対して新型コロナウイルス感染対策に活用いただくための寄付を行った。本来、この寄付は第91回県中央メーデー式典で贈呈を予定していたが、政府の「緊急事態宣言」や福島県の「緊急事態措置」等を受けて式典を中止したことから、日時を改め行ったものである。

冒頭、今野会長は「この間、知事を先頭に新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいる県職員、そして医療現場にたずさわる方方に感謝する。感染拡大防止に向けて、我々の思いを受け止め、役立てていただきたい。」と挨拶した。

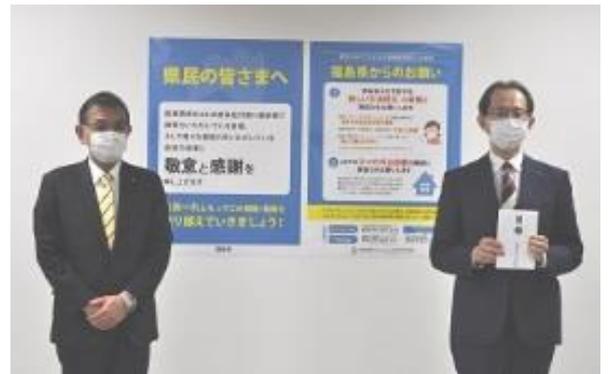
その後の懇談で内堀知事から「新型コロナ感染症によって、政府から緊急事態宣言が発せられ、福島県も外出の自粛や事業者の皆さんに休業をお願いしなければならない状況。休業を要請するという事は非常に辛いこと。一方で、感染の拡大はある程度落ち着いてきている。この落ち着きと今後の推移にもよるが16日には県として、3つの密を避けるなど、新しい生活様式を守ったうえで、施設の使用制限の一部を解除することで調整している。一方、休業要請を解除した後に、感染拡大もでている模様。そこの感染拡大の防止と生活の安全のバランスを取っていく。このような中、もう少しガンバロウという時期、時間はかかるがしっかり対応していきたい。」と話があった。

これに対し「既に県内の事業者も休業や賃金カットをしている企業も出ている。感染拡大防止のため、県民一丸となって取り組まなければならない、取り組みに納得性を持っていただかなければならない。我々だけでなく県民が納得できるように進めていく必要がある。また、医療現場については、体力的にもメンタルにも影響が出ていると聞いている。新型コロナ感染症は個人が孤立してしまう傾向にある。責任感、使命感を持って取り組んでいる医療現場の皆さんは最前線で闘う方々である。手当や宿泊費等も検討していただきたい。」と伝えた。

内堀知事からは「現場の思いをしっかりと受け止め取り組みを進める。共にがんばりましょう！」との回答があり、グータッチで贈呈式を終了した。

連合福島は、5月1日を基準として実施している「アンケート調査」を取りまとめ、引き続き、福島県、県労働局、関係団体に対して要請などを進めていく。

ともに頑張りましょう！



（ 左 今野会長 右 内堀知事 ）

※連合福島「新型コロナウイルス対策本部」ニュースは連合福島ホームページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染症特設ページ

URL . . . <https://www.rengo-fukushima.jp/category/corona>

◎お問い合わせ先

連合福島 組織広報局：遠藤・渡邊

TEL：024-522-0500 FAX：024-522-0501 E-mail：rengo-fukushima@bz01.plala.or.jp